



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 紅葉を巡る 秋の交流会／みんなであう会
- ・山形県 復興支援コラボフェスタ／鶴岡ひなんオヤジの集い
- ・Special Interview 酒田市 中華飯店 紅蘭 千葉吉信さん
- ・しあわせココロのつくりかた(39) ・みんなの声
- ・おすすめ情報 避難者アンケート調査の結果／お知らせ
- ・レシピ ・団体紹介 ・編集部より

第67号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 3,000部



紅葉を巡る 秋の交流会

～長井市社会福祉協議会～

10月31日(土)、民児協との共催で、古代の丘や長井ダムの紅葉などを巡る交流会を行いました。今年1番の寒い日で小雨まじりの天気でしたが、折太陽が顔を出して虹の橋がかかったり、楽しく回ることができました。古代の丘資料館の館長さんから、



イムトンネル内の古代人の生活の様子をお聞きし、また遺跡に残る4本柱は時計の役割で、四季の節目を観測していたそうです。

その後、歩いて土偶広場に行きました。土偶に親しんでもらうために、強化プラスチックを素材として、拡大復

元した土偶が十数体あります。触ったり、登ったりすることができ、みなさん、直接触れたり、写真を撮ったり楽しんでいました。

長井ダムや百秋湖周辺では、目の前に紅葉の山々が広がり、本当に素晴らしい光景でした。土偶広場も長井ダムも一番の見頃で、きれいな紅色に染まっていました。

市街地に戻り、白山神社と長遠寺に行きました。白山神社には、樹齢700年のけやきの木があります。長遠寺の山門には仁王尊が祀られており、大ワラジも奉納されています。地元の民生委員さんの計らいで、白山神社の総代の方や長遠寺のご住職のお話をお聞きし、中も見せてもらいました。お昼は、子どもたちの「いただきます。」で昼食会が始まりました。外は寒かったので、温かいも煮はおいしかったです。歴史の勉強、そしてきれいな紅葉が見られ、いい時間を過ごせた交流会でした。

(長井市社会福祉協議会)



みんなであう会

～歌を明日のちからに!～



日頃、育児を頑張っているお母さん方の気分転換を目的とした会です。よく知られている易しい歌(合唱曲、季節の歌など)を歌う予定です。合唱等の経験がなくても、歌うことが好きな方であればだれでもご参加いただけます。もちろん上手い、下手(?)は関係ありません! お子さん(赤ちゃん～もつと大きなお子さん)を連れてのご参加も歓迎です。

日時: 2015年11月28日(土曜日) 10:30～11:30
場所: 山形市総合福祉センター 2F交流ホール
(山形市城西町2-2-22 TEL 023-645-9234)

【連絡先】みんなであう会
E-mail: believe_utaikai@yahoo.co.jp
tel: 090-8942-6502 山川まで

費用: 特になし
持ち物: お子さんの物、飲み物等

★参加ご希望の方は事前にお知らせいただくとありがたいです★

第11回チャリティーコンサート 復興支援コラボフェスタ

11月3日(火・祝)に山形市民会館にて、震災復興を願うチャリティーコンサートが開催されました。11回目となる今回は、県内・宮城県など各地から10数団体のバンドが集結。コラボフェスタの名前の通り、「琴とピアノ」・「オカリナとギター」などの合奏や、「フラダンスとタヒチアンダンス」など多彩なコラボにより、音楽と舞踊をたっぷりと披露。曲目は童謡から歌謡曲、ロックに至るまで、なじみ深い曲も多く、参加した誰もがウキウキと心躍らせるステージ

でした。屋外広場では、山形県と宮城県とのコラボ物産展「やまがた復興マルシェ」が開催され、山形はもとより南三陸町の屋台や、七ヶ宿町など各地の名産品が楽しめました。今回の開催について代表の佐藤英一さんは「被災地に行きたいけど、行けない人のために、山形でも支援できる場になればと企画している。みなさまの善意は被災地にお届けします。」と語ってくれました。売り上げの一部は南三陸町の子ども育成基金に寄付されるそうです。今後の活動はフェイスブックで発信していきます。次回はどんなコラボが飛び出しか楽しみです。



フェイスブック URL
<https://www.facebook.com/collabofesta/>

鶴岡ひなんオヤジの集い



10月18日(日)鶴岡市社会福祉協議会主催の「ひなんオヤジの集い」が、ふるさとむら宝谷で行われました。会場では地元で採れたそばの品種「でわかおり」を使い、2グループに分かれて、初めてのそばの手打ちに挑戦しました。

丁でそばを切り、一時間かけてようやくそれぞれの個性が詰まった太さのそばが出来上がりました。

なかなか纏まらないそば粉と奮闘しながら、「たくさん練ったほうがコシが出ますよ」という指導者のアドバイスに参加者は一層力も入ります。一人ひとり伸ばし棒を回しながらそばが切れてしまわないよう均一に伸ばし、重いそば包

そば打ちの後は山形県看護協会の方から『ほどよく、楽しく、いいお酒』と題したお話を聞き、いよいよゆであがったそばと地酒で乾杯しました。お酒が入ると鶴岡の地域の話や、それぞれの避難元の話などで盛り上がりました。飲んだ後は、看護協会の方にハンドマッサージをして頂き、体も心も温まる楽しい会となりました。

2020年東京オリンピック前、平成29年3月までに、あの原発事故を終結・忘れさせ様としている国の政策がみえみえ。これで本当に良いのでしょうか？
(富岡町→新庄市 60代男性)

冬の雪が苦手です。室内広場でたくさんあそばせませ〜す。
(福島市→米沢市 30代女性)



「あなたへ」
もっと自分に自信を持ってみませんか！！意外に良い所あったりするものです。(結構いい感じ)
人に頼りつきりだと戸惑うことが多くなるような気がします。私はそう思います。
(南相馬市→南陽市 50代女性)

山形の生活に慣れては来ましたが、冬がおとずれるとやはり雪のない地元が恋しくなります。そろそろ帰りたい・・・けど住む所がなく復興住宅をあたってみましたが優先順位があり入れなく・・・帰りたいです。
(南相馬市→東根市 40代女性)

孫と一緒に中学、高校と大変お世話になりました。来春卒業ですので相馬に帰ります。置賜地区の名所・旧跡、又お料理教室、手芸教室と沢山の思い出、本当にありがとうございます。感謝でいっぱいです。
(相馬市→高島町 70代女性)

「みんなの声」につぶやきを送ろう

<http://kizuna.yamagata1.jp/modules/ccenter/?form=2>



スマホや携帯でQRコードを読み取ってね

みんなの声 募集中！

投稿ハガキ、もしくは携帯やパソコンからも投稿していただけます。
誰かに聞いてほしい一言や、最近考えていること、今の暮らしのことなどを、伝えてみませんか？おまちしています！



山形県に避難しているすべての方へ

つながろうNET



本紙の情報、リアルタイムなおすすめ情報やイベント情報、などを掲載しています。

モバイル、スマホOK！

<http://tsunagarou.net/>



シアワセコラい しあわせココロのつくりかた (39)

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

～たいせつなあなたに伝えたいこと～

あなたがそこに生きていてくれること。あなたが優しい顔で微笑んでくれること。

それだけでしあわせになれる人がいる。

誰かを恨んだり、妬んだり、不安に怯え、恐怖に苛まれ、世を憐んで、ピリピリして、イライラして、鬱々として、自分をも他人をも許せなくなってしまう・・・

そうやってどんどん自分をいじめていくのは、もうやめにしないか。

あなたの優しさを知っている人がいるよ。

あなたの優しさで癒される人がいるよ。

あなたがそこにいて、笑ってくれるだけで、心温まる人がいるよ。

人に特別な手カラなんか必要じゃないんだ。

必要なのは愛すること。愛を与えること。愛を受けとること。

あなたの優しさを待っているよ。



Special Interview

酒田市

中華飯店 紅 蘭

ちば よし のぶ
千葉 吉信 さん



Q 震災前・震災時はどこで過ごしていましたか？

宮城県松島市生まれです。宮城県気仙沼市や仙台市、山形県酒田市などで中華料理屋を20年以上続けました。

その後は釣りの事を勉強したくて、多賀城市の釣具屋に勤務しました。釣りが大好きで、よく「釣り河北」に自分の釣った魚を投稿したりしていました。

震災の時も、ちょうど勤務先の釣具屋にいた時でした。地震の直後、友人が「津波が来るから逃げろ！」と教えてくれて、車で逃げて何とか助かりましたが、釣り仲間や親せき、たくさんの友人が流されてしまいました。自分が勤めていたお店は奇跡的に無事でした。流されてしまった釣り仲間が、店を守ってくれたのかもしれない、と思います。住んでいたアパートもなんとか無事でしたが、着るものや携帯などは流され、食べる物もない日が続きました。

酒田市の友人が地震の一週間後に「生きるか？」と電話をくれて、「食べ物や着る物、ガソリンが欲しい」と言ったら、その友人は二日後に物資を持って宮城まで来てくれました。「とりあえず酒田に来た方がいいんじゃないか」とその友人が誘ってくれたこともあって、その後酒田市内の避難所に行きました。

Q お店を始めるきっかけは？

酒田市内の避難所で1か月ほど過ごしました。酒田市内で中華料理屋をしていた時の友人が、一緒に先の事を考えてくれて、中華料理屋を再開する事を決めました。お店を再開する時は、友人がみんなの手伝ってくれて、本当に優しくしてくれました。酒田に住むことを決めたのも、酒田の人の馴染みやすぐに親切な人柄が大好きだったからです。

Q お店を始めてみてどうですか？

お店を再開すると、宮城の友人が日本海に釣りをしに来るときに寄ってくれます。昔の友人が来てくれると、涙が出るほど嬉しい。牡鹿半島の狐崎浜から牡蠣を仕入れて、お店でも出しています。

最近では、酒田の友人に誘われてゴルフを始めました。紅蘭主催のゴルフコンペを開くのももう4回目。年に2回開いています。仲間が集まってくれて、すごく楽しいです。



唐揚げや酢豚などの定食、ラーメン、焼そばのほか、餃子や一品料理もあります

Q おすすめのメニューは何ですか？

友人には餃子、チャーハン、広東麵が人気です。他にも、ニラレバやホイコーローも人気がありますよ。夜は10時まで営業しているので、飲みに来る人も多いです。

避難している方へのメッセージ

避難所にいた時、色々考えてお店を再開する事を決めました。たくさんの友人が手伝ってくれたし、すごく悩んだ末に決めた事なので、できる所までは頑張っていこうと思っています。釣りやゴルフを楽しみながら、過ごしていきたいです。見ただけでは同じ避難を経験しているのは分からないけど、ぜひお店に来て声をかけてください。



中華飯店 紅蘭 (こうらん)

〒998-0841 酒田市松原南 24-1

電話：0234-26-1707

営業時間：11:00～14:00、17:00～22:00

定休日：火曜日

おすすめ情報

平成 27 年度避難者アンケート調査の結果について

山形県では、今後の避難者支援策のため、避難者の状況や、どのような支援を望んでいるか等のアンケート調査し、10月26日に山形県ウェブサイトの結果を公開しました。

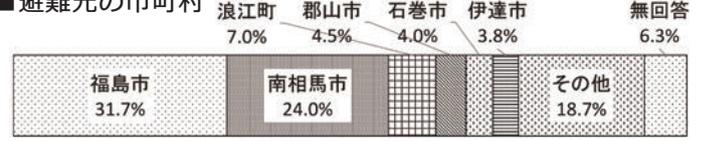
【調査の概要】

- (1) 調査対象 東日本大震災に伴い本県に避難した 1,291 世帯 (H26 : 1,706 世帯)
- (2) 調査方法 郵送によるアンケート調査
- (3) 調査期間 平成 27 年 8 月中旬～9 月中旬
- (4) 集計数 445 件 (5) 回収率 34.5%

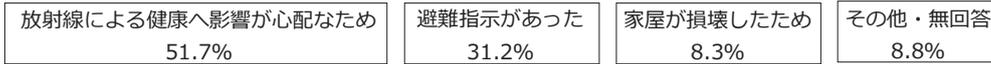
■避難元の県



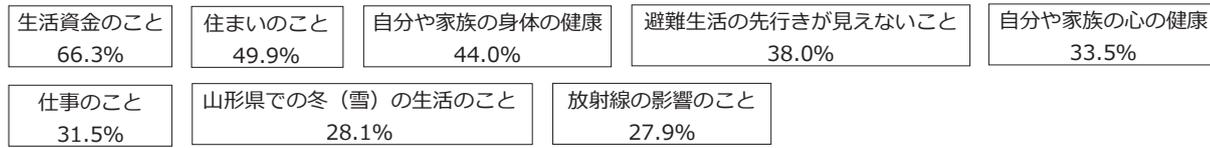
■避難元の市町村



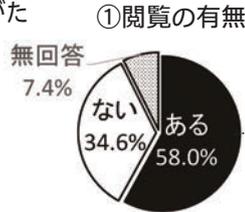
■避難の理由



■困っていること、不安なこと



■復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供(うえるかむ・つながろうネット)



②「ある」と答えた方の評価



お知らせ

東邦銀行 常設ATMの設置について

これまで、米沢市・山形市では移動ATM車「ふるさと・ふくしま号」を毎週1回営業していましたが、営業日や営業時間の更なるサービス向上を図るため、移動ATM車営業ポイントの近隣に常設の店舗外ATMを設置しました。移動ATM車につきましては、常設ATMの設置に伴いまして、平成27年9月末の営業を持って終了しております。設置するATMは通帳くりこし機能を搭載いたしますので、ATM営業時間中であればいつでもお通帳のくりこしが可能となります。

＜新たなATMコーナー概要＞

■米沢市 ヨークベニマル成島店出張所

住 所：米沢市大字塩野 2440 番地 1
 営業日：ヨークベニマル成島店の営業日と同様
 営業時間：毎日 9:30～22:00
 設置台数：1 台（通帳くりこし機能付）



■山形市 ダイユーエイト山形嶋店出張所

住 所：山形市嶋北四丁目 1 番 18 号
 営業日：ダイユーエイト山形嶋店の営業日と同様
 営業時間：毎日 9:30～20:00
 設置台数：1 台（通帳くりこし機能付）

【お問い合わせ先】

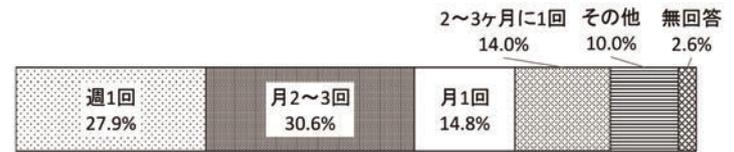
東邦銀行 ハローサービスセンター 0120-14-8656
 受付時間 平日 9:00～17:00
 土日 9:00～16:00（年末年始を除く）

■避難の状況



■避難元の家族と会う頻度

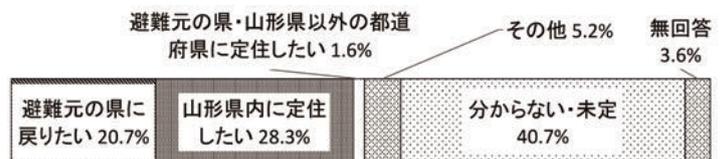
(設問の対象者は家族の一部で避難された方)



■避難している住宅の種類



■定住先の予定について



みなさまからの情報をお寄せください！

・・・詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ・・・

★山形県広域対策本部避難者支援班「平成 27 年度避難者アンケート調査集計結果」を元に作成いたしました。

ひと休み

ラ・フランスにひと手間くわえて おしゃれなデザートに

ラ・フランスのコンポート

<材料>

ラ・フランス 3個 (小さめ)
砂糖 80g
赤ワイン 200ml
蜂蜜 大1
レモン汁 30ml
水 100ml

<作り方>

① ラ・フランスは皮を剥いておく。
② 小さめの鍋にラ・フランスを立てて並べ水、砂糖、ワイン、レモン汁、蜂蜜を入れて煮る。
ラ・フランスがまんべんなくワイン色になるように時々向きを変えながら煮る。

レシピ提供：
在来作物案内人 鈴木淳子さん



☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪

<http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

団体紹介

こども育成支援 置賜学舎



私たち「こども育成支援 置賜学舎」は、平成26年3月に、東日本大震災で被災された児童生徒の学習支援を目的に設立されました。

現在、学期中の隔週日曜日午後、小中高校生を対象とした「おきたま・ふくしま週末寺子屋」を、また夏休みと冬休みに、それぞれ3日間の寺子屋を開催しております。会場には、上杉家ゆかりの歴史あるお寺、米沢市の春日山林泉さまの1室をお借りしております。

各自、宿題や勉強したい教材を持参し、山形大学、米沢女子短期大学および駒澤大学の学生ボランティアと一緒に、和気あいあいとした環境の中で勉強をしています。座学だけでなく、情操教育の一環として、昔

遊び（ベーゴマや百人一首など）や茶の湯体験等、さまざまなアクティビティの時間も設けております。

その他、山形県避難家庭こころのケア事業との連携により、月に1回、臨床心理士にお越しいただき、保護者対象の就学相談も行っております。こちらは、未就学児の保護者の方にもお申し込みいただけます。どうぞお気軽にご参加ください。

お問合せ
はこちら

こども育成支援置賜学舎 代表 石井清純 (駒澤大学教授)

専用携帯：070-6469-3599 フェイスブック：<https://www.facebook.com/okitamagakusha>

携帯メール：okitamagakusha@willcom.com PCメール：seijun@komazawa-u.ac.jp

支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

復興ボランティア
支援センターやまがた



facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

次号は **12月16日** 発行です

情報提供や寄稿は、
12月2日までに
お寄せ下さい。
お待ちしております！



避難者向けフリーペーパー「うえるかむ」

発行元：つながろう！ささえあおう！

復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号

「復興ボランティア支援センターやまがた」

TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp

WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

*この間遊佐町でサケとイクラを食べました！北海道より美味いかも！おすすめですよ〜(ただ)
*今年こそ編み物をしたいです。(サチ)
*コラボフェスタにて「七ヶ宿の白炭」を購入。かかとのカサカサがつるつるに。隠れた名品ですね。(結)
*手が冷えるので、パソコンを使う時は指なし手袋をします。樹木希林さんみたくだともよく言われています。(海)

つながろう NET

<http://tsunagarou.net/>



「うえるかむ」に掲載された今までの記事のすべてと、リアルタイムなおすすりめ情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。